令和８年　４月

川上小学校　保健室

入学・進級おめでとうございます。新しい一年がはじまりますね。みなさんが元気に毎日を過ごせるように、保健室からせいいっぱい応えんします、養護教諭の納富です。ほけんだよりでも、みなさんが自分のからだをずっと守っていくための情報を伝えていきます。どうぞよろしくお願いします。

健康診断がはじまります

健康診断は、自分のからだを知り、守るための大事な行事です。保護者の方には、お忙しい中たくさんの提出物でご迷惑をおかけしますが、宜しくお願いいたします

こんなときは保健室へ

- ケガをしちゃった
- 先生に話を聞いてほしい
- 体がしんどい
- 体のことを知りたい
- なんとなく教室にいたくない

など

保健室は「みんなのための場所」。
具合の悪い人が休んでいることもあるので、静かに過ごしてね。

お世話になる学校医の先生です

*内科（溝口クリニック）
　溝口　哲郎　医師
*耳鼻科（佐賀記念病院）
　山口　陽生　医師
*眼科（やまと眼科）
　坂井　裕一郎　医師
*歯科（あびる歯科）
　阿比留　大志　医師
*薬剤師（ひなた薬局）
　飯盛　理絵　薬剤師

日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度が使えます

学校で起こったケガ等に対して、医療費等の給付が受けられる制度があります。

保護者の皆様へ
【日本スポーツ振興センターの災害給付制度】

学校の管理下で、病院にかかるようなけがをした場合に医療費が給付される制度です。手続きをすると医療費の１割増で支給されます。保護者負担の掛け金は、460円で、６月の口座引き落としで集めます。

学校の管理下でのケガ等が対象です

３割負担の場合、自己負担の総額が1,500円以上の医療費が対象です

※治療を始めたら、学校にお知らせください。

保護者の皆さまにお知らせ

児童生徒のプライバシーや心情に配慮した健康診断実施のための環境整備の考え方について（文部科学省からの通達）

児童生徒の健康診断を実施するに当たっては、正確な検査・診察を実施するとともに、児童生徒等のプライバシーや心情に配慮することが重要となる。このため、学校においては以下の考え方を参考に、円滑な健康診断実施のための環境を整備することが必要である。

1.内科健診における対応について

検査・診察にあたっては、児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した対応を行う。

- 全学年、男女別に実施する。
- 検査は、児童生徒等の身体が周囲から見えないように、衝立やカーテン等により、個別の検査スペースを用意する。
- 児童生徒等の検査に立ち会う教職員は、養護教諭と同性の教職員が立ち会うよう役割分担を調整する。
- 検査の会場内では、他の児童生徒に結果等が知られたりすることがないよう注意する。
- 着替える場所を用意する。

2.内科健診時の服装について

検査時の服装については、正確な検査・診察に支障のない範囲で、体操服・下着等を着ることで身体を覆い、児童生徒のプライバシーや心情に配慮する。

また、正確な検査・診察のため必要に応じて医師が、体操服・下着等をめくって視触診したり、体操服・下着等の下から聴診器を入れたりする場合もある。

①脊柱の疾病及び異常の有無

保健調査票等の情報を参考に、脊柱の捻じれやわん曲などの脊柱の疾病及び異常の有無を確認する際に、正確な判断を行うため、視診し、必要に応じて背中や腰を触診する場合がある。

②胸郭の疾病及び異常の有無

保健調査票等の情報を参考に、胸部の陥没や突出等の変形などの胸部の疾病及び異常の有無を確認する際に、正確な判断を行うため、視診し、必要に応じて前胸部を触診する場合がある。

③皮膚疾患の有無

みずいぼやとびひ、アトピー性皮膚炎などの皮膚疾患の有無を確認する際に、皮膚の状態を視診し、必要に応じて、触診する場合がある。なお、特に外傷の疑いがある場合などは、臀部や腹部を視診する場合がある。

④心臓の疾病及び異常の有無

心臓の疾病及び異常の有無を確認する際に、下着等の上からでは心臓の音が聞こえづらいため、肌に聴診器を当て聴診する。